

《担当者名》 池森康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp 山田律子 石角鈴華 高橋由紀 船橋久美子

【概要】

認知症高齢者の生活を支援する観点から、身体的・精神的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。

【学修目標】

認知症高齢者の生活支援の観点から、医療職と連携支援するために心身機能の障がいや疾病の基礎知識を理解する。  
 認知症高齢者の心身機能が生活に及ぼす影響を理解する。  
 認知症高齢者と家族が、地域生活を継続するために必要とされる心理・社会的支援について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 認知症ケアの理念	認知症のある高齢者の数の推移を理解するとともに、行政の方針と施策について理解し説明できる。	池森
2	認知症の症状と生活支援 認知症の種類と症状	認知症と似た症状を理解し、説明できる。 (うつ病・せん妄など) 4大認知症の特徴を理解し、説明できる。 (アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症)	池森
3	認知症の種類と症状	4大認知症の特徴を理解し、説明できる。 (レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症)	池森
4	認知症の種類と症状	4大認知症以外の認知症を理解し、説明できる。 (慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など)	池森
5	認知症の人の生活理解	認知症の人の生活上の障がいや、コミュニケーション障がいを理解し、説明できる。	船橋 池森
6	認知症の人の特性理解	認知症の人とのコミュニケーションを理解し、説明できる。(家族とのかかわりの障がい)	池森
7	認知症ケアの実際	認知症の人のためのケアマネジメント センター方式やひもときシートの活用した支援を理解し、説明できる。	高橋 池森
8	認知症ケアの実際	高齢者福祉施設で暮らす、認知症高齢者の生活の質を高める取り組みとして、認知症におけるダイバーショナルセラピーと学習療法を理解する。	秋本真希(特別講師) 池森
9	認知症ケアの実際	事例に基づく生活支援の方法を理解し、説明できる。(食事の支援)	山田 池森
10	認知症ケアの実際	事例に基づく生活支援の方法を理解し、説明できる。(入浴の支援)	池森
11	認知症ケアの実際	高齢者福祉施設で暮らす、認知症高齢者の生活の質を高める取り組みを理解し、説明できる。	田中美雪(特別講師) 池森
12	認知症ケアの実際	事例に基づく生活支援の方法を理解し、説明できる。(睡眠の支援、活動と環境の支援)	池森
13	認知症ケアの実際	事例に基づく生活支援の方法を理解し、説明できる。(感染予防の生活支援)	石角 池森
14	認知症ケアの実際	事例に基づく生活支援の方法を理解し、説明できる。(排泄の支援、活動と環境の支援)	池森
15	認知症の高齢者を地域でサポートする仕組みづくり	・コミュニティづくりについて理解し、説明できる。(ボランティアやサポーターの役割) ・認知症の人を介護する家族支援の方法について理解し、説明できる。	池森

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

定期試験（100％）

**【教科書】**

なし。毎回資料を配布する。

**【参考書】**

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：『最新・介護福祉士養成講座13 認知症の理解 第2版』中央法規出版、2022

**【学修の準備】**

- ・日頃から高齢者の健康や福祉に関する情報に関心をもち、講義で学んだ内容と関連づけ自ら理解を深めること。（予習）
  - ・講義中で提示された課題に取り組むとともに、次回のレジュメを読み予習をして授業に臨むこと。（予習・復習）
  - ・講義中に特に重要だと指摘した事項について、自ら調べ復習すること。（復習）
- 予習：2時間 復習：2時間

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1.人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP4.保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

**【実務経験】**

池森康裕（介護福祉士）、山田律子（看護師）、石角鈴華（看護師）、高橋由紀（介護福祉士）、船橋久美子（看護師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

高齢者の福祉施設や医療施設での実務経験をいかし、認知症ケアの基礎的知識と生活支援の方法を講義する。